



CONTENTS

- 1 卒業特集
- 2 専攻トピックス
- 3 令和4年度卒業生の進路状況
- 4 トピックス

就職活動本格化～合同就職相談会～

令和4年度 終業式

令和5年度入学生に向けて入学説明会開催

愛知県立農業大学校
公式HP

SNS



Instagram



Twitter



令和4年度愛知県立農業大学校 卒業特集

祝卒業

卒業に寄せて



校長 鷹羽靖夫

卒業おめでとう！

みなさんは令和3年4月新型コロナ禍の中での入学でした。入学後まもなく始まった農業機械の実習で見たのは、緊張の中で真剣に先生の話の聞いているみなさんの姿でした。これからの学校生活への期待と不安の中で始まったと思います。

みなさんは、コロナ禍で学校行事・寮生活など様々な制限がある中で、本当に互いに努力して充実した学校生活を送れるようがんばってきたと思います。時には羽目はずして先生方に怒られたりした学生もいましたが、実習、勉強、寮生活、アルバイト、遊びなど楽しんでくれたと思っています。特に2年生では、東海近畿スポーツ大会、収穫感謝祭、農大祭、海外派遣研修など今までできなかったことをみなさんが団結して取り組んでくれたことが良い思い出です。そして、寮を離れる日、みなさんの多くから「少し寂しい」「農大生活は楽しかった」という声を聴くと、みなさんが努力して充実した学校生活を送ってくれたのだとうれしく思いました。

これからみなさんは新たな社会に旅立ちます。たいへんなこともあるかと思いますが、この2年間の農大生活を思い出し、時には仲間や後輩や先生に連絡し、また、元気な顔を見せてください。

みなさんと過ごした2年間は私にとっても楽しい時間でした。そんなすばらしいみなさんのこれからの人生に幸多かれと祈念してみなさんへの感謝のことばとします。ありがとうございました。



令和4年度卒業式が3月7日（火）に行われ、教育部農学科74名が本校を巣立っていきました。

新型コロナウイルス感染症により、マスク着用や保護者の入場制限など、様々な制約の中で式典が行われてきましたが、今回、3年ぶりに保護者が見守る中で、とても厳粛に挙行されました。

式典中、卒業生はマスクを外すことができませんでした。マスク生活に慣れてしまったからか、大半の学生はマスクを着用して臨んでいました。

式典では、卒業生全員の名前を呼名し、鷹羽校長から卒業生総代の石原清花さんに、卒業証書が授与されました。

成績優秀者や実習等に精励した者に対して、愛知県知事賞や大学校長賞、全国団体などの表彰が行われ、16名の学生が受賞しました。その後、校長式辞に続いて、愛知県知事代理の犬飼農業水産局技監と柴田同窓会長から御祝辞をいただきました。続いて、在校生代表として、次期学生会長の露地野菜専攻 二村早姫さんが卒業生へ感謝の気持ちを込



卒業証書授与 卒業生総代 石原清花

めて送辞を述べ、また、卒業生を代表して、果樹専攻 武山 アイリさんが2年間を思いながら答辞を行い、卒業式は閉式となりました。

卒業式終了後は、学生会主催による「卒業生を送る会」が催されました。多くの在校生も参加し、軽音楽部による演奏やビンゴ大会など、大いに盛り上がりました。

卒業生には、この学校で学んだ知識や技術、学生生活で出来た仲間を頼りにし、誇りを持って前に進んでほしいと思います。

各賞 受賞者

優 秀 賞（愛知県知事賞）	
石 原	清 花（養豚・養鶏）
優 秀 賞（大学校長賞）	
澤 村	日 菜（酪 農）
生 駒	は な（露地野菜）
服 部	碧 記（果 樹）
精 励 賞（大学校長賞）	
牧	哲 大（鉢物・緑花木）
寺 澤	祐 美（切 花）
野 田	将 吾（作 物）
林	陽 向（果 樹）
伊 藤	空 也（露地野菜）
今 泉	凜 音（施設野菜）
屋 宜	虎 我（酪 農）
水 谷	風 都（養豚・養鶏）
特 別 賞（大学校長賞）	
門 脇	幹（作 物）
武 山	アイリ（果 樹）
全国農業大学校協議会長賞	
小 池	創 太（酪 農）
農業大学校同窓会全国連盟会長賞	
藤 松	稜 也（作 物）



優秀賞(大学校長賞) 澤村日菜



全国農業大学校協議会長賞 小池創太



農業大学校同窓会全国連盟会長賞 藤松稜也



送辞 在校生代表 二村早姫



答辞 卒業生代表 武山アイリ



校長式辞(鷹羽校長)



愛知県知事祝辞(農業水産局 犬飼技監)



来賓祝辞(柴田同窓会長)



卒業生を送る会(学生会)



学生会会長 武山 アイリ



農大の思い出

私は学生会の活動を通して多くの経験と仲間を得ることができました。特にまだまだ新型コロナウイルスの影響を感じる中での運営はとてもやりごたえがありました。

この2年間で得たことを存分に活かして新生活でもバリバリ活躍してどんどん進化できたらいいなと考えています。大好きな仲間たちや後輩との繋がりを大切に心支えにし、頑張っていきます。

鉢物・緑花木専攻 牧 哲大



たくさんの良い仲間と出会い、有意義な時間を過ごすことができました。鉢物・緑花木専攻では、たくさんの種類の花を知ることができ、様々な体験ができました。また、寮生活も良い仲間と囲まれ楽しい時を過ごすことができました。

今後、農大で学んだこと、体験したことを活かして頑張ります。

切花専攻 加藤 正希



農業大学校では、切花の栽培や出荷について学びました。高校でやっていた実習よりも深く生産に関わられて、とても貴重な体験でした。特に2年生からは、中止になっていた学校行事が復活して、本来の学校生活が戻ってきたと感じたので、農業大学校を離れるのはとても寂しいです。そして楽しい思い出を一緒に作ることができた仲間達には感謝しかありません。

農業大学校で学んだことを就職先でも活かして、日々努力していきたいです。本当にありがとうございました。

作物専攻 野田 将吾



農業大学校では、稲・麦・大豆の3品目について学びました。作付け計画を作り、田起こしから収穫まで、各々が責任を持って管理し、栽培技術を得ることができました。また、コロナ禍や天候により予定通りにいかない事ばかりでしたが、頼もしい仲間たちや相談に乗ってくれる先生方のおかげでやりきることができました。

卒業後はみんな離ればなれになってしまうので、仲間たち、先輩方、先生方と出会えた農大の2年間は本当に大切なものでした。2年間ありがとうございました。

果樹専攻 林 陽向



農業大学校では、最高の仲間たちと出会うことが出来ました。特に、2年生では数年ぶりに行われた行事がたくさんあり、大変な問題に直面しても仲間とともに乗り越え、より深い思い出をたくさん作ってきました。本当に色々な人のおかげで、この2年間ずっと笑って終わることが出来ました。これからの社会人生活でも、これらの経験を活かして頑張りたいと思います。

ありがとうございました。

露地野菜専攻 伊藤 空也



露地野菜専攻は個性的なメンバーが多く、その雰囲気が大好きでした。実習中は全員一致団結し、手の空いた人は終わっていない作業に駆け付けて助け合って作業を進める事が出来る素晴らしい専攻だと思います。

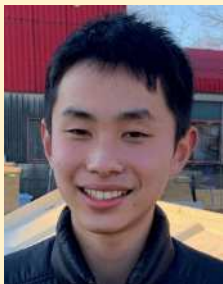
卒業してバラバラになってしまいますが、露地野菜専攻で学んだ団結力をこれからも大事にして活躍して欲しいです。

施設野菜専攻 大門 昂大



農大での2年間でオーストラリア研修が1番思い出に残りました。行く前は不安もありましたが、とても楽しく、特にオーストラリアの景色に圧倒され自分の人生観を180度変えさせられました。1年生は絶対に行った方がいいです。

酪農専攻 前田 拓真



酪農専攻のみんなとの2年間は色々あったけれど、本当に楽しかったです。農大祭では「玉せん」を協力して完売することができました。今の1年生には自主性と行動力があると思うので、これからも大事にして欲しいと思います。卒業後は和牛肥育農家に就職するので、農大で2年間学んだことを生かしていきたいと思います。

養豚・養鶏専攻(養豚) 石原清花



養豚専攻で学んだ2年間は養豚への興味をさらに深めるとともに、仲間と切磋琢磨し、お互いを高め合うことができました。私は豚の病気に興味を持ち、豚の治療や卒業論文のテーマとして、ワクチンの研究取り組むことができ、とても充実した学生生活を送れました。また、専攻実習では、問題が起きた時、仲間と話し合って解決策を導き出したことは一生忘れられない良い思い出になりました。

養豚養鶏専攻(養鶏) 山根 大稀



専攻実習や当番は大変でしたが、得られるものは多かった2年でとても楽しかったです。1年生は飲み込みが早くて頼りがいのある後輩達だったので、次の1年生にもよき先輩として頑張ってください。そして、学生のうちに楽しめる限り楽しんで欲しいと思います。

2年間、本当にお世話になりました。

卒業おめでとうございます

先生から卒業生へ

- 失敗を恐れず、何事にも前向きに楽しむ気持ちで頑張ってください。(副校長 石橋良洋)
- 皆さんの強みは、農大で学んだ専攻実習です。自信を持って社会で活躍してください!!(教育部長 島岡勝隆)

学務

- これからもよく学びよく遊べ!!(丹羽隆展)
- 恐れず進め。君の冒険を楽しんで欲しい。(浅野将宏)
- 勇気をだして挑戦!自信がつくまで挑戦!確信もてるまで挑戦!活躍を期待しています!(近藤靖之)
- これからの人生、自分の力を信じ、強さと優しい心を忘れず、歩んでください。(福岡淳子)
- 「少年老い易く学成り難し」それぞれの夢を実現するため、勉学に励もう(坂口卓司)
- 将来の目標実現に向け、こつこつと前向きに頑張ってください!(磯貝 勝)

花き

- 農大での出会い、思い出を大切にし、人生を楽しんでください。(米倉 悟)
- 御卒業、おめでとうございます。(田中良子)
- 農大で得た絆を大切に。社会に出ても心強い味方になってくれるはず!(大橋博子)
- 農大の経験・思い出は一生もの!!これからの皆さんの輝かしい未来を応援しています!!(佐久真ひろみ)
- いつまでも愉快的な君たちでいてください。どんな時でも遊び心を忘れずに!(原 知明)
- 自分を大切に!自分を応援してくれる人も大切に!(鶴田瑞穂)

野菜

- 農業もサラリーマンも健康第一です。日々スポーツを楽しむことと健康診断を忘れずに。(水野英之)
- 何事も前向きに取り組み、楽しく人生を送ろう!(鬼頭雅也)
- 農大卒の強みを生かして、これからも皆さんが活躍されることを期待しています!(牧 宏優)
- 社会に出ても農大の経験を大切にしてください。良い人生を!(吉田圭介)
- 農大でできた友達を大切に! いつでも農大に顔を出してください。(小嶋博樹)
- 農大でできたご縁を大切にしてお明るく前向きに、そして「笑顔」で活躍してください。(金沢輝芳)

作物果樹

- 再開の年。皆さんの若い力が頼りです。で、またどこかで再会できれば。(落合敏弘)
- 仕事も勉強も〇〇も、フリでもいいから楽しみな。ホントになるよ。(長崎晋作)
- 農大で得た繋がり、学びは一生もの!またいつでも顔を出しにきてください♪(影山舞子)
- 農大での2年間に自信を持って、明るく楽しく生きてください。またいつか元気な姿を見せてね!(古川 恵)
- 困ったら仲間に頼ることも忘れずに。楽しくたくましく生きてください。(福岡真穂)

畜産

- この先、迷っても自らの決断を信じよう!桜花の様にどの道も花咲く未来が待っています。(川上幸裕)
- 2年間の寮生活で培った仲間は人生の宝です。これからも人との出会いを大切に。(成瀬俊一)
- 農大での経験は一生の宝物です。それぞれの道を、自分らしく歩いて下さい。(春日井大輝)
- 農大での知識や経験は必ずどこかでいかされます。健康に気をつけて、楽しい社会人生活を送ってね(河合奈菜子)
- 人生楽しんだもの勝ちです。何事も前向きに。前向きになれなかったらいつでも来て下さい。(横井太志)
- 農大で得た仲間を大切に、健康に留意して、人生をenjoyして下さい。(大口秀司)
- この先も個性を活かして笑顔で頑張ってください。また、元気な姿を見せてね。(村田 結)

舎監

- 農大で培った絆を大切に!(辻 邦夫)
- 知らないでは通用しないのが社会。(山下 篤)
- 社会生活で大切なことは、人を思いやること。頑張ってください。(田口延行)
- 農大の団体生活で得た仲間を大切に。(宇野滋晃)

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！



トンネル栽培の準備進む

露地野菜専攻では、ニンジン、ダイコン、ハクサイ、スイートコーンをトンネルで栽培しています。それぞれの植物生理を理解し、トンネル栽培による保温の意味を学びながら実習を行い、合計31本のトンネルを作成予定です。最初は慣れずビニール張りに戸惑っていた一年生も、今では作業もスピードアップし風にも負けないトンネルを立てられるようになってきました。ダイコンなど早いものは4月中旬から収穫します。



アールスメロンの豊作を願って！

施設野菜専攻では、夏場のメイン品目としてアールスメロンを栽培しており、3/16(木)に播種を行いました。毎年センチュウなどの病害に苦しめられてきましたが、土壌消毒などの改善を進め、毎年収量が増加しつつあります。今年は2つのハウスで1200粒の種を播種し、順調にいけば7月下旬に収穫できる予定です。ご期待ください！



土壌分析で次作の準備！

農業総合試験場を訪問し、土壌分析について学習しました。分析方法をレクチャーしてもらいながら、農大の水田から採取した土壌の分析を実施しました。学生たちは細かい量の計量や慣れない機械の操作に戸惑っていましたが、次第にスムーズにできるようになりました。今後は測定した結果をもとに適正施肥量を算出するなど、プロジェクト活動に活用していきます。





感謝の気持ちを花に込めて

別れの季節がやってきました。今年も、切花専攻で用意したお花を様々な場面で使っていただきました。

卒業式では、例年作成している壇上の飾花に加え、1年生から卒業生へ贈るミニブーケを作成しました。さらに、今年度で定年を迎える鷹羽校長先生、野菜グループ班長の水野先生への花束も切花専攻で準備させていただきました。贈る側、贈られる側双方に御満足いただけたようで幸いです。

また、短期間のうちにたくさんの作品を製作したことで、学生たちのアレンジメント技術も目に見えて向上し、大変勉強になりました。



鶴舞公園の花壇づくり

3月8日に名古屋市にある鶴舞公園で、正面花壇の植え付けを行いました。

正面花壇はたくさんの人に見られるため、みんなが協力して綺麗な花壇をつくるよう努力しました！

まずデザインを考え、苗は12月に種を播いて育て、約600株の苗を植えました。鶴舞公園のスタッフの方々、先生方にご指導頂きながら頑張りましたので、お時間のある方はぜひ実際にご覧ください。



鳥獣害の講義でわなの架設を体験

2月28日、野生イノシシ対策室主体のもと、鳥獣害に関する研修が開催されました。農総試普及戦略部や岡崎市職員が講師を務め、講義では、鳥獣害対策の基本から、岡崎市の鳥獣被害の現状についての身近な内容についても触れられており、学生は興味深そうに聞いていました。講義のあとは、ハクビシンやアライグマ等の小型獣用の箱わなやくりわなの架設体験が行われ、架設に戸惑う学生もいれば、熟練のわな師のような手つきで作業する学生もあり、講師の先生から将来を期待する声が聞かれました♪





イタリアンライグラスの播種をしました

3月にイタリアンライグラスの播種をしました。大きな圃場のため1年生全員、それぞれが種袋を持ち、「砂かけばあ」ならぬ「種まきねえさん」となり無事まきおわりました。収穫は5月頃になり育成牛たちの餌になりますが、来年度は収穫するのではなく、ここに放牧場を作る予定で考えています。その頃には新しい1年生もいるね。来年度もよろしく！



精液採取の実習を行いました

擬牝台が修理を必要とし、しばらく使用できませんでしたが、修理が完了し、精液採取の実習を再開しました。しばらくぶりで、精液採取に少し不安はあったようですが、無事に精液採取し、精液性状等を観察することができました。今後、定期的に精液採取し、毎回、確実に精液採取ができるように実習を進めていきます



来年度に向けて大掃除

2年生は農業大学校を卒業し、新たな場所へと旅立っていきました。農業大学校で学んだ知識や技術だけでなく、培った体力や精神力も活かして新社会人として頑張ってもらいたいです。

卒業と同時に来年度の準備も始めています。今の1年生も2年生になり、専攻を引っ張っていく先輩となります。来年度の2年生が専攻を運営しやすいように、過去の先輩たちが残した遺産を片付け、気持ち新たに春休みを迎えています。

若い鶏たちも新年度に向けて卵を産み始めています。まだ小さな卵で正規のサイズになるまでは時間がかかります。もうしばらくお待ちください



令和4年度卒業生の進路状況

令和5年3月7日（火）、本校2年生74人が卒業しました。

今回、この74人の卒業後の進路についてご紹介します（3月15日現在）。

一部で未定の者もありますが、今年度もほぼすべての卒業生が進路を確定することができました。

令和4年度卒業生の進路別の内訳は表の通りです。

表 令和4年度卒業生の進路別内訳

項目		人数(人)
就 農	自営就農	8
	雇用就農	24
就 職		38
うち一時就職		8
研 修		2
進 学		0
その他・未定		2
計		74

専業農家出身者で、卒業後即就農する者が

8人で卒業者に占める割合は10.8%でした。雇用

就農する者は24人、32.4%で平成31年度以降

徐々に高まってきています。この二つを合わせた

就農者は、32人で43.2%となり直近5か年では

最も高い率となりました（図参照）。これに、

将来就農する予定で一時就職する8人と研修を

受ける1人を加えると41人が就農予定で、就

農率は55.4%となり近年では最も高い率となります。

注1)就職のうち一時就職とは、専業農家出身者で将来自営就農予定の者。

注2)研修のうち1名は、農業外研修。

注3)その他・未定のうち1名は進学希望者。

また、就職38人についてその就職先をみると、JA等に7人、農業機械関係に4人、農業資材関係に4人をはじめ、農業関連団体・企業に24人が就職し、公務員等として5人が農業関係高校実習助手等に就職しています。一方で、非農業関連も9人で、全体の12.2%を占めています。

来年度も引き続き、全学生が早期に希望進路を叶えられるよう支援してまいります。

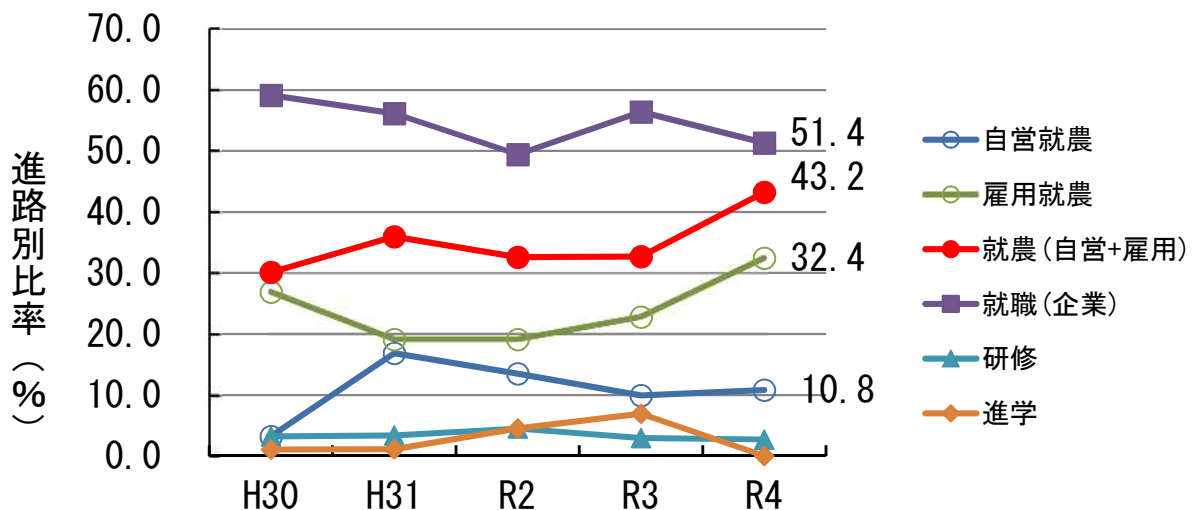


図 就農・就職率の推移(平成30～令和4年度)

トピックス

第1回合同就職相談会を開催しました

3月2・3日（木・金、全課程対象）、3月9日（木、畜産課程対象）に合同就職相談会を開催し、66人の学生が参加しました。

合同就職相談会は、本校学生に求人を希望する企業・団体が参加して、採用担当者から直接説明を聞くことができる機会です。例年3月と6月の2回開催しています。

今回は、3日間で昨年より多い51の企業等の参加を得て開催することができました。参加した学生のアンケートでは、エントリーしたい会社があったとの意見も聞かれ、今後就職活動が本格化します。



令和4年度終業式

3月14日（火）は令和4年度最後の終業式でした。

2年生が卒業し、1年生のみの式となりました。1年生にとって、4月の入学直後は学校に慣れるのに必死な様子でしたが、日々の授業や専攻実習、様々な学校行事をこなし、1年の経験を経て見違えるほど大きく成長しました。来年度は先輩として新入生を引っ張っていく立場となります。

終業式の後には、先日卒業した先輩に来ていただき、海外派遣研修報告会を行いました。来年の自分の姿と重ね合わせ、目を輝かせながら聞いている学生の姿が印象的でした。

最後にサプライズとして、今年で退任となる鷹羽校長へ、学生会から感謝の言葉と花束が贈呈されました。



令和5年度入学生に向けて 入学説明会を開催

3月20日（月）に、令和5年度教育部農学科入学説明会を開催しました。本校の定員は100名ですが、志願者107名から選抜された91名が入学予定となっています。

島岡教育部長からは、2年間は長いようで短く、農大で何を学ぶのか、卒業後に何をしたいのか、自身の進路を見据えて頑張ってもらいたい旨のお話がありました。また、和耕寮で過ごす舎室や寮内施設を見学しました。新入学生や保護者から農大での学びや共同生活に期待する様子が窺えました。

